

## 恩賜財団母子愛育会 愛育幼稚園からのご案内



☆園長よりご挨拶

令和4年度、愛育幼稚園へのお子さんの入園を考えていらっしゃる保護者の皆様、こんにちは。本園では8月末に新入園児募集説明会を、9月に見学の日を予定しておりました。しかし、東京都への緊急事態宣言発出が9月12日まで延長されたこと、新型コロナウイルス感染症の拡大収束の見通しがたたない現状を考慮し、残念ながら説明会、見学、いずれも中止と致しました。本来なら、直接、本園にいらしていただき、通園の道をたどり、園の環境を見て、雰囲気を感じ、教職員とも出会った上で、出願を決めていただくのが一番ですが、ホームページを通じて本園の特色をお伝えしたいと思います。

4月、子どもたちの幼稚園との出会い、本当に様々な姿がみられます。ニコニコと笑顔いっぱい、すぐに遊び始める子、じっと周りのことを見て、少しずつ動き始める子、大泣きで保護者の方にしばらくは一緒にいてもらって少しずつ慣れていく子、緊張で表情や動きが固く、ほとんど話さない子。教師は一人ひとりと出会い、その気持ちに寄り添いながら、その子のペースで、ものや人に興味をもち、人を信頼し、安心して遊ぶ、自信をつけて挑戦する、といった育ちを後押しできるよう、子どもたちと関わっていきます。

一人ひとりの子どもが、興味や関心をもつことは、それぞれ異なります。園庭の隅っこでダンゴムシ探し、砂場でごちそう作り、全力でかけっこ、保育室でままごと、何か作ってみる、その子が自分で見つけた、やってみたいこと、好きなことにじっくり取り組める時間を十分に保障したいと考えています。みんなで一緒に楽しむ時間も、子どもたち一人ひとりのペース、リズムを尊重しながら進めています。ですから、どの子にも同じことを教え込むようなことはしていません。その子の「やりたい」から始まる、夢中になって遊ぶ楽しさ、満足感が、「もっとやってみよう」と挑戦したり探求したりすることへと、体験が積み重なっていくようにと考え、計画を立て、教材の準備や環境の構成をします。そして、子どもの今の姿に合わせて、その計画を変更したり工夫したりしながら生活を進めています。

子どもたちのキラキラと輝くまなざし、グッと集中する姿、イキイキと動く体、が園の生活の中でたくさん見られるよう、保護者の方と共に、子どもたちの根っこがたくましく育つ後押しができればと願っています。

文部科学省「幼稚園教育要領」より

- ・ 幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。
- ・ 幼稚園教育は、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行う。
- ・ 幼児期にふさわしい生活を展開し、遊びを通しての総合的な指導を行う。

## 愛育幼稚園の教育の基本となる

### 教育方針

なごやかな雰囲気の中で、のびのびと活動させ、社会性を円満に伸ばし、情緒面の調和的な発達を図る

### 教育目標

じぶんがすき！ あなたがすき！ みんながすき！  
いつもげんきなあいいくのこ



## 本園の特色

親も育ち、子も育ち（教師も育ち）を実践している園ということです。  
幼稚園と保護者、保護者同士、みんなで子どもの育ちを支えています。  
土の園庭や自然豊かな環境（鳥のさえずり、蝶やトンボが飛び交い、夏には蝉の鳴き声が響く）の中で、子どもたちはのびのびと遊びや生活を楽しんでいます。